

## 平成30年度 第2回上小阿仁村総合教育会議 議事録

- 1 日 時 平成31年1月30日 木曜日  
開会：午後2時30分 閉会：午後4時00分
- 2 場 所 集住型宿泊交流拠点施設「コアニティー」  
二階 会議室B
- 3 出席者  
構成員 上小阿仁村長 小林悦次  
上小阿仁村教育委員会 教育長 高橋充  
委員 保坂康雄  
委員 伊藤勉  
委員 長井広子  
委員 矢旗政則
- 事務局 上小阿仁村教育委員会 事務局長 齊藤幹雄  
総務学校班 主査 佐々木太功郎
- 4 議 事 (1) 平成30年度9月から1月までの教育委員会の主な動きについて  
(2) 平成31年度の主な施策(案)について  
(3) 村の主要施策について
- 5 会 議 録 別紙

別紙（会議録）

齊藤事務局長	<p>ただ今より平成30年度第2回上小阿仁村総合教育会議を開催します。はじめに上小阿仁村長小林悦次が挨拶を申し上げます。</p>
小林村長	<p>皆さんご苦勞様でございます。教育委員の皆様には常日頃、子ども達のため、社会教育のためにご尽力いただきまして本当にありがとうございます。</p> <p style="text-align: center;">（中略）</p> <p>いずれ上小阿仁村については教育立村という形でこれまでずっと対応させていただいてきた経緯がありますので、今後もこれを継続する形で予算措置をさせていただければと思っております。よろしくお願いを申し上げまして挨拶に代えさせていただきたいと思っております。どうかよろしくお願ひ申し上げます。</p>
齊藤事務局長	<p>次第3番、協議事項に入ります。これから先は、上小阿仁村総合教育会議設置要綱第4条の規程によりまして村長が議長となりますので会議の進行をよろしくお願ひいたします。</p>
小林村長	<p>それでは、次第に従いまして、3番の協議事項に入らせていただきます。私のほうで進めさせていただきたいと思っております。（1）「平成30年度9月から1月までの教育委員会の主な動きについて」事務局から説明をお願いします。</p>
高橋教育長	<p>※ 【資料1について説明】</p>
小林村長	<p>ここまでで何かご質問等ありましたら出していただきたいと思います。</p>
矢旗委員	<p>感想になりますが、村長が先程もおっしゃいましたが、1—（14）こゝに発表会で子ども達が縦割りグループで討議して発表するということが大変よかったということ、子ども達が自分達の目線で考えたことを村長が聞いてくれて、実現可能なこともあるかもしれませんし、村長が対応してくれるというスタイルはとてもいいなと思いました。</p>
保坂委員	<p>2—（4）スポーツ推進委員協議会研修会は、各市町村の持ち回りですね。</p> <p>大変好評だったということなので、上小阿仁にスポーツを推進している方々に集まってもらって、コブ杉まで歩いて行ってもらうとか、上小阿仁独自で何か委員の方々に集まってもらってやることを企画してみるのも楽しいのではないかと思います。教育長の話だと上小阿仁の施設状況を知らないで、学習センターの中に図書館があるのだとか素晴らしい施設だということを初めて知ったという方もいるということでした。いろいろな形で集まってもらって体験してもらえれば、その人達がまわりの方々に伝えてくれることもあると思うので、これを機会にできればそういうものを企画したらいいと思います。</p>
高橋教育長	<p>これは旧市町村持ち回りということになっているので、大館は大館と比内と田代、北秋田市は鷹巣、合川、森吉、阿仁、そして上小阿仁の8ヶ所で行うということで8年に一度まわってくるということです。</p>

矢旗委員	2-(1) ウオーキングラリーの人数が87名とここ数年では多いのではないかと 思いますが、スポ少への依頼が大きかったのでしょうか。
齊藤事務局長	はい、スポーツ少年団への声掛けのおかげで、お子さんと保護者の方、かなりの人数 に参加をしていただきまして大盛況だったと思います。
小林村長	2-(4) スポーツ推進委員協議会研修会ですが、県北大会なんですよ。ミニバス とかのスポーツ少年団に、結構上小阿仁を会場にいただいています。県北とい う単位ではなくて、秋田市、能代市、大館市は上小阿仁だと会場が取りやすいとい うことがあるのだと思います。距離的に秋田市、大館市、能代市というと同じような距 離になるということで結構使っていただいていますので、スポーツ推進委員の研修に 上小阿仁をぜひ使っていただければと思っています。
	次に移らせていただきます。(2)「平成31年度の主な施策(案)について」説 明をお願いいたします。
齊藤事務局長	※【資料2について説明】
小林村長	学校関係について質問ご意見等ありましたらお願いしたいと思います。
長井委員	中学校1年生の人数は確定ですか。
佐々木主査	現在のところの人数です。
高橋教育長	〇〇さんという他県からいらしている子どもが、中学校に上がる機会に他県にもど りたいということでした。
佐々木主査	他県の市教育委員会からの通知では、他県内の中学校に入るという通知を親御さん のほうで取っていました。その通知の写しをこちらでいただいてここに反映させてい ます。
矢旗委員	A L TとかN E Tが在住しているというのは上小阿仁のよい特徴だと思います。今 後もこの体制をぜひ維持、継続してほしいと思うことと、インターナショナルデーと かイングリッシュキャンプは、海外研修と違って全員が平等に行える素晴らしい機会 なので、多くの回数があってもいいと思います。 海外研修ですが、これは6人になる可能性があるとか中学生からの募集の可能性が あるとお話が出ていますが、この定員は5名なのですか。
齊藤事務局長	予算の確保上が5名ということです。31年度にそれが中学生を対象にするとか人数 の部分で若干増えるといったことが、31年度で実現するというものではなく、今後 そういう部分も検討していかなければならないということです。
高橋教育長	そうですね。まず31年度は高校生で、できれば5名ということで進めたいと思 います。

矢旗委員	最後に給食の補助についてですが、納めてから返すのではなくて、最初から補助できないのでしょうか。
佐々木主査	今年度から初めて実施したわけですが、一度納めていただいた後にそれをお返しするという方法が公平性を保てますし、そのやり方でどうかということで今年度実施しました。方法を変えることができないということはないので、今後実施していく中でよい方法を検討していければと考えています。
矢旗委員	事務のこととかを考えるとどうなのかなと、手間が多くかかっているように感じます。
小林村長	保育料もそうですが、半年分をいただいた段階でお返しすれば、そのお金をあと半年分に使えるというのもひとつの考え方で、できれば子育て世代の方々ですので教育に対してそのお金を使っていたらいいと考えています。無料にする、もらわないという考え方もあるのですが、そうなると思えた形で子どもさんに使っていたらいいだけでなく、先ほど公平性のことができたが、それも考慮する必要があります。補助金交付要綱なので、皆さんの意見で変更は可能ですが、当初作った考え方に基づいて、あくまでも子どもさんのために教育のために使っていたらいいという意味で、今のやり方をとらせていただいているということです。
長井委員	帰りの通学のバス変更に伴うマイクロバスですが、熊が出たときのマイクロバスの使用は可能になるものですか。
高橋教育長	そういう事態であれば可能です。非常事態ですから。
長井委員	昨年は先生方の対応が素晴らしかったですね。 朝は保護者でも対応できると思いますが、帰りはやはり難しいと思います。
高橋教育長	子ども達を送迎してもらったりして先生方に大変頑張ってもらいました。
保坂委員	学校給食に関してですが、給食センターが新しくなって、今回多くの指摘を受けたということなんです、新しい施設にあっさりとしたやり方をやっていたということですか。具体的にはどういう指摘だったのですか。
佐々木主査	設備的な面での指摘もありましたし、作業そのものに対する指摘もいくらかありました。ですから作業のやり方で改善できる点も多くありますし、建物そのものというよりは、細々とした調理器具ですとかそういったところでもう少し対応してみてもいいということもありました。
齊藤事務局長	調理したものを調理場から教室のほうへ運ぶときに、調理員の方々が直接台車で屋内を運んでいくという形なんです、戻るときにもきちんと除菌の状態を保って下さい。戻ってくる食器についても除菌、消毒の体制を整えて下さい。これが給食センターから学校へ移動して運ばれるものであれば、当然調理員ではなく別の人が対応することによって衛生を各々で管理することになるんですが、うちのほうの場合は併設な

	<p>ので、その人達が直接出ていく、出て行ったのであれば戻るときにはもう1回消毒しなさい。器具そのものについても、調理場から出ていって入れるものについては、消毒と除菌という対処をして下さい。そういうふうな指摘、指導等もありました。</p>
保坂委員	<p>手渡しすればいいということですか。センターから外に出て行った人がそのまま戻ってきてはいけない、それがだめなんですね。管理する方法は当然考えているんですよ。</p>
齊藤事務局長	<p>今、話ししましたように、出て行く人とそこに受け取りにくる人との線をはっきりさせることによって分ける。それぐらいしか今のところはすぐにできる対応というのはないんです。</p> <p>食器については、給食が終わって戻ってくると、当然洗うなり消毒するなりします。その部分についてはいいわけなんです。今、一番大切なことは、出て行った人が入るときには、調理場の中に雑菌が入るような可能性がない対処をしなければならないということです。</p>
小林村長	<p>複式学級ということが出てきていますが、これについては私的には教育委員会にお願いをして、複式学級にならないような対応をとっていただければと思っていますが、これについてはいかがですか。</p>
高橋教育長	<p>今年もまた加配とって、先生を多くもらえることになりましたので、複式はほぼ解消できるようになります。</p>
小林村長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次の社会教育に進みたいと思います。</p>
齊藤事務局長	<p>※ 社会教育費、保健体育費について説明</p>
小林村長	<p>質問等ありましたら受けたいと思います。</p>
長井委員	<p>トレーニングルームの活用状況はどうですか。</p>
齊藤事務局長	<p>徐々にではありますが増えてきています。だいたい決まった時間ですが、小沢田集落、福館集落の方がグループで。昼休みを利用して活用している方が役場の中に1人2人。あと、教育委員会からも1人とか。午後も日中自由のきくような方が1人2人。17時以降になると仕事が終わってからという方が1人2人。1週間の中で毎日の人もありますし、2日置きとか週2回とかという方もいますし、まず徐々に活用されてきています。</p> <p>今後の予定としましては、スポーツ推進員が音頭をとってくれたようで、小沢田集落の年配の方を対象として、使用の方法を指導するとかそういう講座みたいなものを企画しているという情報があります。</p>
長井委員	<p>利用時間は30分間、1時間というきざみがあるんですか。</p>
齊藤事務局長	<p>今のところ無料です。使用している方のスケジュール表がありまして、行って誰も</p>

齊藤事務局長	使っていないとすぐに使えるのですが、予約制の時間を組んでいまして、お昼休みの利用だと20～40分位の人もいますが、たいていの方は1時間～2時間くらいで利用しています。
伊藤委員	沖田面小学校のグランドゴルフの件ですが、トイレの件はどうなりましたか。設置するということは決まったのですか。決まっていないのですか。
齊藤事務局長	村の総務課が管轄ですが、実施の方向で進んでいると聞いてます。確認しないと断言できません。いずれ、集落に備品の管理をお願いして貸し出し、平行してトイレの設置という話がありましたので、設置の方向で進んでいると聞いてます。
矢旗委員	1回目の総合教育会議で上ノ岱スポーツエリアの活用状況についてという議事の中で、上ノ岱スポーツエリアをグランドゴルフの区画整理と周辺の環境整備を併せて行うとか、テニスコートについてはコアニティーを利用した合宿研修ができるようにするといった話が出たのですが、その辺の環境面について、進みそうな話というのは何かあるのですか。
齊藤事務局長	今年平成30年度において、スキー場の下の方ですが、グランドゴルフとして活用している部分に水が溜まるということで、水はけをよくする工事を実施しております。 併せて利用計画という部分を検討してもらいまして、図面上で交差しない程度でコースをとるとすれば3コースできるということです。ただ、その場合にはかなりコース間が狭くなったり、勾配が急なコースができたりということで、安全に利用できるコースとしては2コース、テニスコートの周りを利用した、ローラースケートのコースが今ありますが、その芝生等も活用することによって歩きながら利用できるようなコース設定をすることによって上の岱で2コース、沖田面の旧グランドで2コースということで、道具のほうも上の岱にも沖田面にも設置するというので、手ぶらで行ってもできるような環境を整えたいと思います。
小林村長	トレーニングルームについては、ランニングマシンが入っていますので、雨が降った日とか、今は雪があって外を走るのは滑って転ぶと危険もありますので、できればそういう器機を活用していただければと考えております。
矢旗委員	筋トレのマシンとかは入る可能性はないのですか。
小林村長	これから総合的にトレーニングルームを整備していく、計画的に予算処置をしていく。ですから全体的な整備をする計画を立てて、予算に見合った財源計画に基づいて順番に整備をしていくということが考えられると思います。
長井委員	使う頻度が多くなれば故障したりとか。その辺の維持管理的なことについてはいかがですか。いつかは絶対壊れると思うんです。今がよくても後でというのはちょっとということもあります。どうせだったらもっと利用してもらおうようにしてもらえればと思います。例えば、ミニバスの親御さんとかが見に来ている間に声をかけて使ってもらおうとかそういうことあるでしょうし、私の知り合いにも毎週何曜日と決めて使

小林村長	<p>っていらっしゃる方もいるんですが、このままでいいのかなと思ったりもします。</p> <p>たくさんの方に使ってもらいたいと思っています。今の状況だと頻度的には全然、人数的にいても全然です。</p>
伊藤委員	<p>村長さんは、この健康長寿というのは、どうであれば健康長寿とお考えですか。健康というのは外に出て運動したりいろんな催しに参加したりするのもいいと思います。家に居れば居たで安否確認をしたりいろいろとやってくれています。いずれ上小阿仁はどんどん高齢化社会になっていくわけ。最終的にはどういう状態が健康長寿と言えるのですか。</p>
小林村長	<p>健康長寿というのは、健康で生活できる年齢を秋田県一にしたいということです。秋田県は健康寿命日本一を10年をめどに目指しているんですが、秋田県の場合は全国平均からいうとだいぶ下なんです。健康である年齢が上小阿仁村の男性だと80歳なんです。男性の健康年齢が80歳で秋田県で2番目、女性が85歳ということで秋田県一なんです。男女とも一番にしたいと考えています。男性の80歳を82歳83歳まで上げていきたい、女性であれば85歳を86歳87歳まで上げていきたいと思っています。</p>
長井委員	<p>健康の基準って何ですか。</p>
小林村長	<p>要介護者ではないということです。いわゆる病気をしていない、入院をしていないということです。女性の平均寿命が87歳だとしたら85歳までは健康であるということです。そして86歳87歳がもしかしたら病気をして亡くなっているということになっているのですが、できるだけ健康なまま長寿を目指したい、そのために運動をしていただきたいということと交流をしていただきたい。それは肉体的な健康と精神的な健康のふたつを目指さないと本当の健康とは言えないと思っています。そういう意味でスポーツ団体もしくは各種文化団体のほうに健康を維持するための支援、補助金ということで10%を上乗せしているんです。</p> <p>あといろんな形で声かけをしていきたいということで、小中学校の子どもさんには本当に協力してもらっています。あいさつ運動とか防災無線での声かけとか、あれを聞いた老人の方々はすごく元気になっています。なかなか子どもさんの声を聞く機会がなくてですね、朝とかに元気な声で呼びかけてもらっているものですからすごく好評です。ラジオ体操についても今までだと職員の声でしたが、子どもさんの声になってから元気に動かしてもらっています。そういう意味ではトレーニングルームの整備もそうですし、グランドゴルフの整備、スポーツ施設の整備も併せてさせていただいて、ぜひ活用していただきたいと思います。文化的なものについても、いろんなイベントや講演会、かみこあに大学、健康サロン等、できるだけ外に出ていただいて参加していただいて交流をしていただきたい。それによって、運動にもなりますし精神的な健康にもつながるというということで、ひとつのことで健康長寿というのはなかなか難しいので、保健センターばかりでなくて教育委員会、社会教育含めて対応していただきたいということをお願いしております。</p>
長井委員	<p>出て歩ける人は別に問題ないんです。出て歩けない人ですね。</p>

矢旗委員	人だかりに出るのがいやだという人も結構いますよね。
小林村長	そういう意味で子どもさんの力を借りているというのが実状です。少し目先を代えたつもりなんです、すごく評判がいいんです。
伊藤委員	I P.電話で返事が返ってこない人がいますね。そういう人にはどう対応するのですか。
小林村長	保健センターに一人一人の全部のカルテがあります。返事のこない日が長い人には電話をしています。電話でだめなときは訪問をしています。
長井委員	この間、学校で3・4年生の太鼓の発表がありました、今までの学校祭では中学年はだいたい同じようなプログラムでしたが、もしかしたら今後も太鼓を継続して下さるのかなと思うんですが、例えば、子ども達の演技を指導してもらったりするのは可能なのでしょうか。学校にはちょっとという方もいらっしゃると思うので、まだまだ未熟だとは思いますが、もしよければと思いました。
高橋教育長	そうですね。学校の意向と団体の保存会の意向だと思います。
伊藤委員	私は和太鼓をこの前初めて見ましたが、太鼓は音だけ聞くのと見るのとでは違うものですね。かけ声はあるし動きはあるしバチの立ち回りも大きくてすごいと感激しました。
長井委員	子ども達は覚えるのがすごく早いです。せっかくの機会なので保存会からの指導を、お願いしたいと思います。
小林村長	それでは(3)の村の主要施策である『健康長寿』『教育の充実』『雇用の拡大』についての意見、感想をお願いしたいと思います。
高橋教育長	いずれ教育は全部に係わっていくと思いますので、何か日頃思っていることがあれば出していただければと思います。
矢旗委員	小学校の玄関の靴箱が小さいのか長靴の入れ方が変なのか、下の段が膨らみ水滴が結構入るような形で置いている子どもがいます。今は人数も減って場所が空いている状況ですから、靴箱を改修して高さのある靴箱にするか、または冬の間は先生が置く場所を指定してあげるとか、そういう配慮があってもいいのかなと感じました。 それと女子更衣室ですが、男子は教室で着替えをしますが、女子は寒い更衣室で着替えをするそうです。女子生徒からそういう情報がありました。どういう形になるかわかりませんが暖房がほしいと思います。
高橋教育長	暖房が入っていないわけですね。そこは学校に伝えて何か対応策を考えたいと思います。子ども達の靴箱から水滴が落ちてきているのですね。伝えておきます。
小林村長	それでは、その他に移ります。教育行政に感じていること等ありましたら出してくださいと思います。どんなことでも結構だと思います。

<p>小林村長</p>	<p>子どもさん達に選挙体験をしていただいてこあびよんの名前を決めていただきました。その後この人気キャラクターについては、キーホルダーとかファイルとかいろいろなものを出しています。今年はこちらの絵描き歌というものを作りました。武蔵野大学が夏に短期と長期で宿泊研修を行いました、そのカリキュラムのひとつの宿題としてこあびよんの絵描き歌を出しまして、そのいいところ取りをしてプロの方をお願いをして作りましたのでぜひ子どもさん方に使っていただければと思います。</p> <p>ほおずきやコハゼなど村に関する歌詞が入っていて、それに基づいて最終的にはこあびよんの絵ができるという構成になっています。また、道の駅にこあびよんと一緒に写真が撮れるパネルを設置しました。等身大の人形ももうすぐでき上がってきます。せっかく子どもさん方にかかわっていただきましたのでもう少し広めたいと思っています。</p> <p>その他何かないでしょうか。なければ事務局のほうにお返しします。</p>
<p>齊藤事務局長</p>	<p>はい、ありがとうございました。長時間に渡り貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。以上で、平成30年度第2回上小阿仁村総合教育会議を閉会します。</p>